

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



自治体を国際化すること

秋田県観光文化スポーツ部誘客推進課 中村 啓人

シンガポール事務所での勤務を終えて

東京本部の企画調査課で1年、シンガポール事務所で3年の計4年間クレアにお世話になりました。2021年からの海外赴任では、ASEAN 諸国がコロナ禍から回復していく過程を肌で感じる事ができ、貴重な経験となりました。

帰任後は、県内加工品の輸出促進に係る業務を経て、現在はインバウンド誘客拡大に係る業務を担当しています。クレアで得た知識と経験は現在の業務推進の礎となっており、改めてその派遣意義を3つの視点で整理したいと思います。

クレア派遣のメリット

クレア派遣のメリットは、大きく分けて3点あるかと思えます。

1点目は、海外での実務的なアテンドスキルの習得です。赴任中は自治体の首長や幹部の訪問対応、職員の現地サポートを何度も経験しました。海外でのアポ取りのテクニックや、事前準備、現地活動の勘所を実例として蓄積できたことは、現在の業務に直結する大きな財産となっています。

2点目は、多角的な政策比較の知見が得られる点です。複数の自治体によるインバウンド誘客、販路開拓、国際交流の取り組みを間近で体験し、比較・分析できる機会は、通常の自治体勤務では得難いものです。他自治体の成功事例や課題を知ることは、帰任後の政策立案において貴重な判断材料となっています。

3点目は、生活者として現地で暮らすことで、人々の価値観や行動原理を体験的に理解できる点です。現地のリアルな感覚をつかむことは、精度の高い情報発信などを展開する上で必須のスキルとなります。

自治体を国際化すること

昨今、情報検索はAIとの対話へと進化し、翻訳ソフトを介さずに高速で簡便に日本の情報を収集できるようになりました。利便性が向上する一方で、画一的で不正確な情報も散見され、このような転換期だからこそ、自治体が信頼性の高い情報を発信・蓄積する意義はこれまで以上に増えています。

そのためには、海外の価値観やニーズを深く理解した人材が不可欠です。クレアでの海外赴任は、その要請に応える十分な知識と経験を提供してくれます。時代の変化とともに自治体の国際化のカタチは変わりますが、クレアの果たす役割は今後さらに高まっていくと思います。



シンガポールの初日の出 (2024年元旦)

プロフィール・ほか

- クレア在籍時の所属：
2020年4月～2021年3月 東京本部総務部企画調査課
2021年4月～2024年3月 シンガポール事務所